

CMIC REPORT 2010



シミックレポート 2010

シミック株式会社 第26期 中間ビジネスレポート
2009.10.1 - 2010.3.31



CMIC

Pharmaceutical Value Creator

証券コード：2309 東証一部

人々の、健康で喜びに満ちた
幸せな生活を支えるために
～シミックグループの想いを、かたちに～



コーポレートロゴマークを刷新しました

コーポレートシンボルのペンタゴン（正五角形）は、シミックグループ独自のビジネスモデル「Pharmaceutical Value Creator（ファーマシューティカル・バリュー・クリエイター）」と「Healthcare Value Creator（ヘルスケア・バリュー・クリエイター）」をシンボリックに表したものです。人々の健康で喜びに満ちた幸せな生活を支えるために、新たなビジネスを創出し、社会への貢献度を高めていく新たな事業の確立を目指すシミックグループの企業姿勢を表現したデザインです。

ペンタゴンに描かれた図形は、「人間」を表したもので、頭部のように見える丸は「知性」と「先見性」を、それを支える体のように見える曲線は、目標に向かい行動し成し遂げる「遂行力」と飛躍するための「挑戦力」を表現しています。

CONTENTS

CEO中村和男メッセージ.....	01	会社概要	22
シミックQ&A	10	株式の状況	23
業績ハイライト	19	株主メモ	24
連結財務諸表	20	healthクリックの健康コラム	25



Message from Kazuo Nakamura

中村和男メッセージ

代表取締役会長兼社長／CEO

1992年、日本におけるパイオニアとしてCRO事業を開始したシミック。2010年4月には第一三共グループの静岡工場を譲り受け、CMOとしても国内最大級へ。シミックは、革新的で質の高いサービスを提供するための新たなステージに踏み出していきます。

当第2四半期のご報告

(2010年9月期第2四半期)

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

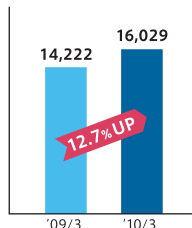
医薬品業界は、高齢化社会進展ともなう政府の医療費増加抑制施策への対応、主力商品の特許切れ、新たな収益源としての新薬開発等、様々な課題を抱えています。シミックグループが属する業界は、製薬企業のアウトソーシング推進を背景に、市場規模は引き続き拡大傾向にあります。

当第2四半期においては、国内外の製薬企業から受注した医薬品開発支援等が順調に事業を進めました。前年同期に比べ、ヘルスケア事業の治験施設支援(SMO)業務、医薬品営業支援(CSO)事業、医薬品開発支援(CRO)事業のデータマネジメント業務などを中心に売上高が増加した一方で、売上原価、販売費及び一般管理費の抑制に努めました。その結果、増収増益となりました。

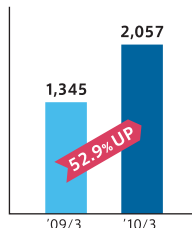


業績の要約(連結)

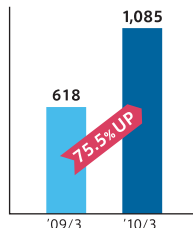
売上高 (百万円)



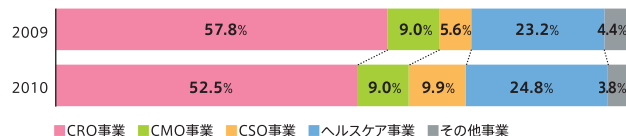
営業利益 (百万円)



四半期純利益 (百万円)



連結売上高構成比



主な事業の概況

医薬品開発支援(CRO)事業

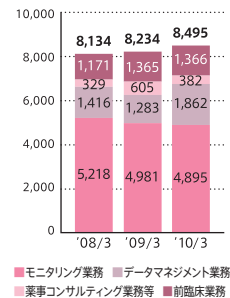
主に製薬企業などに対し開発(臨床試験など)を支援する事業

医薬品開発支援事業は、ほぼ前年同期並みで推移しました。

モニタリング業務では、新規案件の獲得により受注が順調であったものの、一部の既存案件において顧客都合によるプロジェクト内容の変更や開始の遅れなどの影響を受け、売上高は前年同期並に推移しました。データマネジメント業務では、前期受注した案件の進捗に加え、安全性情報業務が引き続き好調に推移したことから、売上高は前年同期に比べ増加しました。株式会社応用医学研究所で行っている前臨床業務では、品質保証事業の試験で一部中止案件があったものの、売上高は前年同期並に推移しました。薬事コンサルティング業務等では、ヘルスケア分野の業務が低調であったことから、売上高は前年同期に比べ減少しました。

引き続き、モニタリング業務については臨床試験の効率化・スピードアップを図り、データマネジメント業務についても体制強化を図ってまいります。

売上高 (百万円)



医薬品開発におけるシミックの優位性

アジアでも日系CROのリーディング・ポジションにある

複数のグローバルファーマ、国内大手製薬企業からプリファード・ベンダーとして選定されている

グローバルCROと提携し、他社に先駆け国際共同治験を実施

国際共同治験で抜きん出た国内被験者獲得スピードを実現

医薬品製造支援(CMO)事業

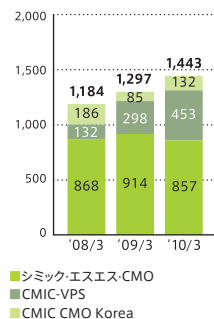
主に製薬企業から医薬品などの製造業務を受託する事業

医薬品製造支援事業については、CMIC-VPS Corporationの受託が好調だったことなどにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

また、2010年4月1日付けでシミックCMO株式会社の全株式を取得し、シミックの完全子会社となりましたが、当第2四半期については、同社の営業開始に向けた準備を進めてまいりました。

日本最大級の医薬品製造支援企業グループとして、シミックグループの医薬品製造4拠点が連携し製造技術や製剤開発力の向上に努め、新規受託獲得に取り組んでまいります。

売上高 (百万円)



シミックグループの製造拠点

シミックCMO株[静岡]



シミック・エスエス・CMO株[富山]



CMIC CMO Korea Co.,Ltd.[韓国]



CMIC-VPS Corporation[米国]



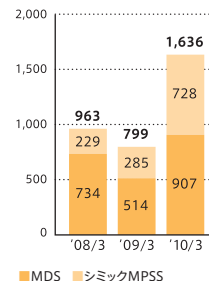
医薬品営業支援(CSO)事業

MR派遣、販促資材の企画・制作など、医薬品の営業・マーケティングを支援する事業

エムディエス株式会社によるメディカルコミュニケーション業務(販促資材企画・制作等)及び株式会社シミックエムピーエスエスによるMR(医薬情報担当者)派遣業務が好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

今後も引き続き、新規案件受託に努め、収益性向上を目指してまいります。

売上高 (百万円)



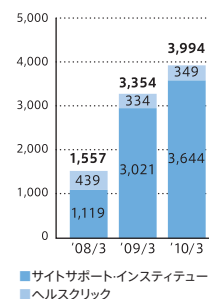
ヘルスケア事業

主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援事業

治験施設支援(SMO)業務を行うサイトサポート・インスティテュート株式会社が引き続き好調に推移し、売上高、営業利益ともに増加しました。

今後も、日本最大級の治験施設支援企業グループとして、スケールメリットを活かしたシェア拡大を図ってまいります。

売上高 (百万円)



シミックグループの事業戦略・強み

シミックは、1992年に日本で初めて医薬品開発支援 (CRO) 事業を開始しました。以降、潜在的な顧客ニーズをいち早く察知し、当社が事業化した複数の業務が今では臨床試験実施において不可欠なものとなっています。この『先見性』と実際に事業を成し遂げる『創業力』は、当社の大きな強みです。このような強みを活かし、今後も製薬企業の戦略的パートナーを目指して、顧客ニーズに応えるための新規事業を生み出すことに挑戦してまいります。

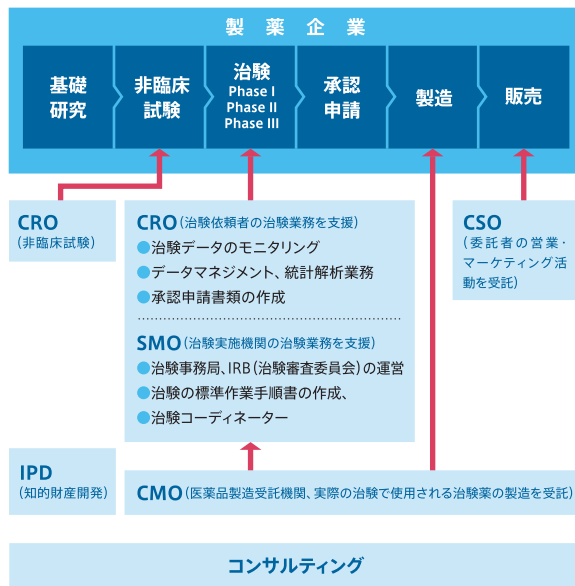
シミックの創業力

シミックが初めて事業化し、今日の医薬品産業で不可欠となっている主な事業

1992年	1996年	1996年	2002年
医薬品開発支援 (CRO)	医薬品開発支援 (CRO) [韓国]	治験施設支援 (SMO)	安全性情報業務
<ul style="list-style-type: none"> ●日本初のCROとして、製薬業界に開発のアウトソーシングの概念を浸透 ●現在のCRO市場規模は1,630億円 	<ul style="list-style-type: none"> ●韓国においても初めてCROを立ち上げ ●韓国の国際共同治験は日本を上回る実績数 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本初のSMOとして、医薬品開発における臨床試験の効率化、迅速化に貢献 ●現在のSMO市場規模は358億円 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本のCROで初の事業化 ●医薬品の副作用情報などの安全性情報の入手などを行う業務

シミックでは現在、開発から製造、営業・マーケティングまで、製薬企業の医薬品事業をフルサポートする体制を整え、当社独自のビジネスモデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) のもと、製薬企業の価値最大化に取り組んでいます。当期における施策の一つとして、2010年4月1日には高度な技術力を有する第一三共グループの静岡工場を取得し、CMO事業の生産体制の強化を行いました。また、CRO事業においてはデータマネジメント業務の事業基盤を拡充するため、2010年5月東京CRO株式会社のデータマネジメント・統計解析業務譲受の基本合意を締結しました。今後も個々の事業を強化しながら、シナジー効果を発揮し、グループの成長を目指してまいります。

シミックのビジネスモデルPVC

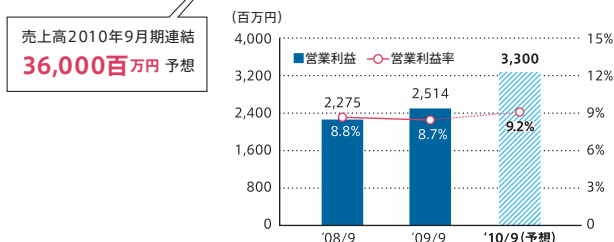


シミックグループの将来展望

2010年9月期通期業績については、引き続き増収増益を予定しています。売上高は、前期比25.1%増の36,000百万円を見込んでいます。一方、利益面は、知的財産開発(IPD: Intellectual Property Development)事業における積極的な新規研究開発投資や事業規模の拡大を目指した増員を計画しており、営業費用の増加が見込まれます。

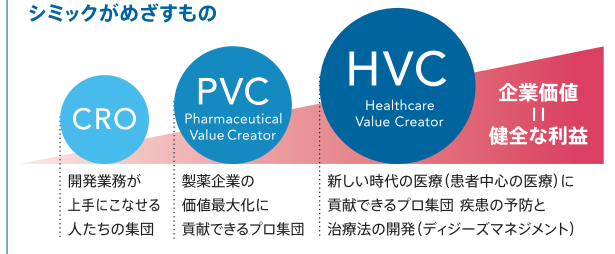
(百万円)

科目	2010/9期 予想(前期比)	2009/9期 実績
売上高	36,000(125.1%)	28,784
営業利益	3,300(131.3%)	2,514
経常利益	3,250(135.4%)	2,400
当期純利益	1,700(160.4%)	1,059



シミックグループは、独自のビジネスモデルであるPVCとして各事業間のシナジーを一層発揮し、製薬企業に対してより質の高い効率的なサービスを提供することで、これまでの競争優位の持続・強化を図ります。このようなPVCに基づいた事業拡大を通じて、希少疾病をも対象として、より多くの安全で有効な薬を利用できる環境を形成し、さらには疾患の予防から診断、治療に至るまで、人々の健康維持・増進に広く寄与したいと考えています。

シミックがめざすもの



シミックグループは、成長性が高い事業領域においては売上高シェアの持続的上昇、市場が確立した事業領域においては利益率の持続的向上を重視しており、連結グループとしては売上高営業利益率10%以上の達成を目標としています。

今般、静岡工場を有するシミックCMO(株)が加わったことで、より一層シミックグループの総合力を発揮しながら、更なる成長を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

用語解説

モニタリング業務

主に臨床試験の実施基準に従って実施・記録および報告されているかどうかを確認する業務。

データマネジメント業務

臨床試験のデータを正確に入力し、矛盾点についてフィードバックを行い、最終的に統計解析に利用できる形にデータベース化し、そのデータを適正に管理する業務。

治験施設支援(SMO)業務

医療機関で被験者のケアや同意取得補助など治験実施をサポートする業務や治験事務局業務など、医療機関の治験に関わる業務。

株主の皆さまより寄せられた ご質問にお答えします!

2009年9月期シミックレポートにてご案内しましたアンケート調査において、多くの株主の皆さまより貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。今後も株主の皆さまのご期待に沿えるよう企業価値の向上に取り組んでまいります。

Q1

2010年4月にシミックグループに加わった静岡工場はどのような工場でしょうか。

A1

私のご案内します!

市川 邦英 (CMOカンパニー長)



P12

Q2

未承認薬や診断薬の開発についてもっと知りたいです。

A2

私がお答えします!

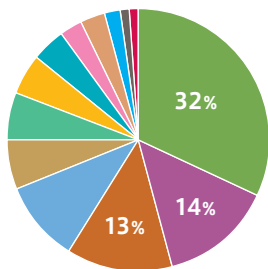
中村 和男 (CEO)



P16

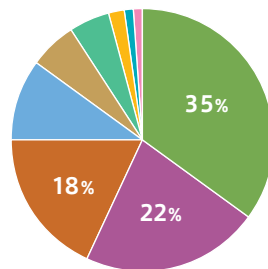
アンケートの結果ご報告

当社の株式をご購入された理由は何ですか



- 1 将来性
- 2 事業内容
- 3 収益性
- 4 市場成長性 (10%)
- 5 安定性 (6%)
- 6 配当 (6%)
- 7 証券会社の勧め (5%)
- 8 戦略・ビジネスモデル (4%)
- 9 株価の割安感 (3%)
- 10 経営者の考え方 (3%)
- 11 社会・環境対応 (2%)
- 12 無回答 (1%)
- 13 その他 (1%)
- 14 知名度 (0%)

シミックレポートについて何を期待されますか



- 1 成長戦略の明確化
- 2 事業内容の説明
- 3 収益構造の明確化
- 4 財務数値の充実 (10%)
- 5 事業環境の記載充実 (6%)
- 6 経営者の人物像 (5%)
- 7 企業文化の伝達 (2%)
- 8 大きな文字 (1%)
- 9 頻度の高い発行 (1%)
- 10 デザイン (0%)
- 11 その他 (0%)

Q1 2010年4月にシミックグループに加わった
静岡工場はどのような工場でしょうか。

A1 私がお案内します！
市川 邦英 (CMOカンパニー長)



2010年4月、シミックCMO(株)は、
シミックグループとして営業を開始しました。
第一三共グループの主力工場として
培った技術力と品質保証力を
継承する静岡工場をご案内します。



静岡 県

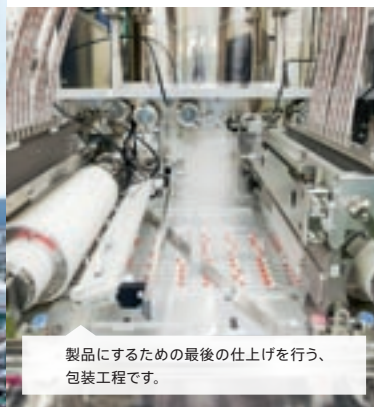
工場のある静岡県島田市は江戸時代に栄えた東海道島田宿の宿場町。市の南部に広がる牧之原台地は全国有数の大茶園が広がる自然豊かな環境にあります。



付着している塵埃、細菌などを効率良く吹き払う高性能エアシャワーです。



粉状あるいは溶液状となっている原料を用いて、均一の形状と大きさの粒子を作り出す造粒工程です。



製品にするための最後の仕上げを行う、包装工程です。



広大な工場敷地内には、サッカー場やテニスコートもあります。

ここに注目!

環境に配慮した工場です

静岡工場は、2005年に緑化優良工場として「経済産業大臣賞」を受賞しています。環境保全への主な取り組みをご紹介します。



製造の過程で出る汚水は、排水施設で完全に綺麗な水にしてから川に流しています。



環境施設「LNGサテライト施設」と「小型ボイラー施設」の設置をしています。重油からLNG(天然ガス)の燃料転換により、静岡工場から排出されるCO₂の量が約10%削減されました。



静岡県を流れる大井川の河川敷や旧東海道などで行われる清掃活動に参加しています。また定期的に工場周辺の清掃をしています。

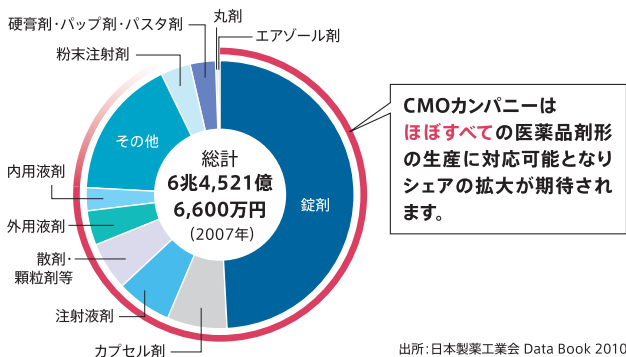


シミックCMO(株) グループ化のインパクト

医薬品製造支援 (CMO) 事業においては、2005年の薬事法改正以来、日本・韓国・米国の3カ国に工場を有し、医療用医薬品、一般用医薬品などの製造に対応した事業の展開を図ってきました。高い品質と柔軟かつ安定した生産供給で多くの信頼と実績を築きながらも、受託剤形の拡大、なかでも固形剤ならびに注射剤の国内生産を目的とした工場取得の必要性について検討を進めてきました。

この度静岡工場を譲り受けたことにより、固形剤ならびに注射剤の生産が可能となることから、シミックグループはほぼ全ての剤形の製造を受託でき、国内最大級の医薬品製造支援企業グループとなります。このことから、医薬品製造のファブレス化やアウトソーシング化を進める製薬企業の多種多様なニーズに対し、柔軟かつ迅速なサービスの提供が可能となります。

医薬品剤形分類別市場規模 (生産金額ベース)



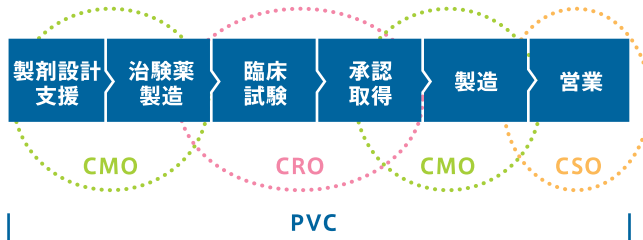
静岡工場取得の意義

静岡工場は:

- 生産可能剤形: 固形剤 (錠剤、散剤、カプセル剤)、注射剤等
- 第一三共グループで培われた高品質かつ高度な技術力
- グローバルに通用する製造技術・ノウハウ

- 生産領域の拡大 (ほぼ全ての剤形に対応)
- 製剤開発技術、製造技術力の強化
(処方設計支援、治験薬製造、スケールアップ)
- スケールメリットによる受託製造可能性の拡大

今後は、静岡工場を加えた4拠点の連携強化で製造技術や製剤開発力の強化を行い、高い品質と柔軟で安定した生産供給を目指してまいります。また、シミックグループの医薬品開発支援 (CRO) 事業や医薬品営業支援 (CSO) 事業との連携を深めることで、製薬会社の生産機能である治験薬製造から商業生産までの一貫受託も可能な支援サービスが提供できるよう、医薬品製造支援事業の拡充に傾注してまいります。





必要としている患者さんがいながら
開発に着手されていない希少疾病用
医薬品や、患者ニーズの高い診断薬の開発。
事業を通して、社会的意義のある活動に
積極的に取り組んでいます。

希少疾病の国内未承認薬の開発

シミックでは、国内で未承認となっている急性ポルフィリン症（遺伝子の異常に基づく血液の病気）治療薬ヒトヘミンの開発を進めています。日本では10万人に1人が遺伝素因を有すると言われている希少疾病であり、また適切な診断および治療なしでは致命的な状態に陥る場合もある重篤な疾病です。この未承認薬は、患者団体の積極的な活動により、厚生労働省の未承認薬開発支援対象12品目中の1つに指定されました。このように臨床ニーズが高いにもかかわらず何らかの理由により開発が見送られてきた希少疾病用医薬品の開発に着手することで、社会へ貢献する企業を目指してまいります。

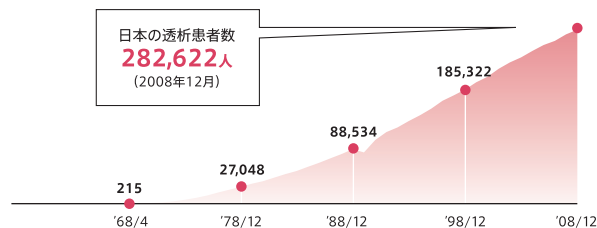
知的財産開発ビジネスの収益モデル



自社開発した診断薬をライセンスアウト

シミックは、知的財産開発 (IPD) 事業の第一号案件として、腎疾患診断薬「L-FABP (L型脂肪酸結合蛋白)」の開発を進めています。腎疾患の患者数は世界的に増加傾向にあります。腎疾患早期の段階から感度良く進行リスクを判断できる診断薬が乏しく、効果的な治療を行うためにも新規開発が求められてきました。L-FABPは、患者数の増大が懸念される腎疾患を早期に検出しうるものとして、国際的にも大変注目を集めています。

このL-FABPを使用した腎疾患の検査方法に関して、2009年12月のエフ・ホフマン・ラ・ロシュ社、2010年3月にジェンザイム社とライセンス契約を締結しました。シミックは契約時一時金、マイルストーン、ロイヤリティ収入を得ることになります。

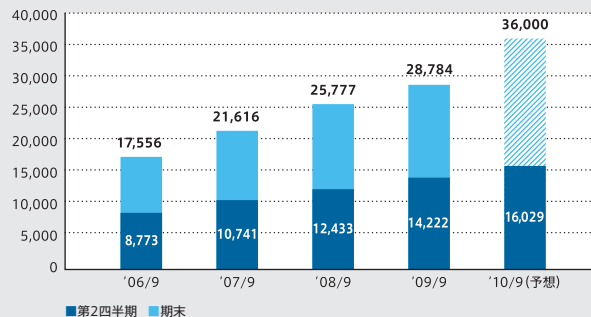


Financial Section

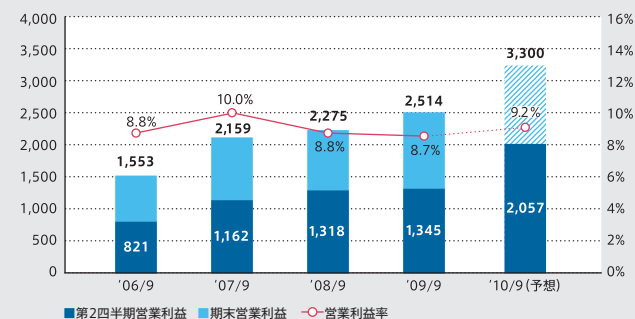
業績ハイライト

売上高・利益ともに2桁成長を継続。
営業利益率も上昇し、当初計画を達成しました。

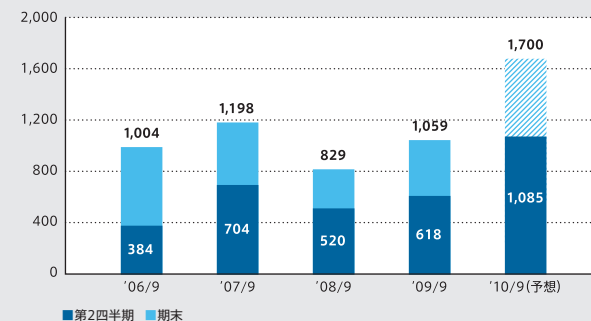
売上高 (百万円)



営業利益および営業利益率 (百万円)



当期純利益 (百万円)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	当第2四半期 2010年3月31日現在	前期 2009年9月30日現在
資産の部		
流動資産	21,700,464	14,800,925
固定資産		
有形固定資産	5,143,382	5,002,061
無形固定資産	1,281,567	1,292,634
投資その他の資産	2,362,096	2,259,548
固定資産	8,787,046	8,554,244
資産合計	30,487,511	23,355,170
負債の部		
流動負債	6,905,510	6,729,759
固定負債	8,069,699	2,138,571
負債合計	14,975,210	8,868,330
純資産の部		
株主資本	14,653,702	13,714,752
評価・換算差額等	△169,166	△205,974
少数株主持分	1,027,765	978,061
純資産合計	15,512,301	14,486,839
負債純資産合計	30,487,511	23,355,170

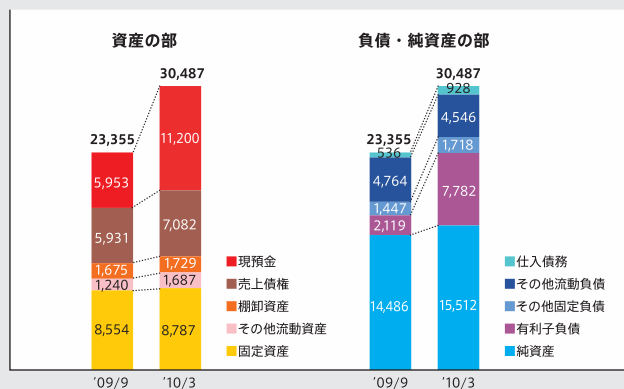
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

科目	当第2四半期 2009年10月1日から 2010年3月31日まで	前第2四半期 2008年10月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,385	510,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△787,445	△829,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,457,307	△129,470
現金及び現金同等物に係る 換算差額	16,772	△32,096
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	5,069,019	△480,722
現金及び現金同等物の期首残高	5,512,948	6,070,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,581,967	5,589,955

四半期連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

科目	当第2四半期 2009年10月1日から 2010年3月31日まで	前第2四半期 2008年10月1日から 2009年3月31日まで
売上高	16,029,429	14,222,389
売上原価	11,156,811	10,271,636
売上総利益	4,872,617	3,950,753
販売費及び一般管理費	2,815,508	2,605,010
営業利益	2,057,109	1,345,743
営業外収益	151,137	56,435
営業外費用	76,326	112,290
経常利益	2,131,919	1,289,887
特別利益	15	—
特別損失	37,085	30,105
税金等調整前当期純利益	2,094,849	1,259,782
法人税、住民税及び事業税	974,806	674,697
法人税等調整額	△20,900	△106,138
少数株主利益	55,265	72,526
四半期純利益	1,085,678	618,695

簡易貸借対照表(百万円)



会社概要

2010年3月31日現在

商号	シミック株式会社
設立	1985年
資本金	3,087,750千円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	2,853名(連結)
グループ会社 (連結子会社) 2010年4月1日付	CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC Asia-Pacific,Pte.Ltd. CMIC(Beijing) Co.,Ltd. シミックCMO(株) シミック・エスエス・CMO(株) CMIC-VPS Corporation CMIC CMO Korea Co., Ltd. 株シミックMPSS エムディエス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) 株ヘルスクリック 株応用医学研究所 株シミックBS BRASIL PESQUISAS CLINICAS LTDA
持分法適用会社	富士フィルム・シミックヘルスケア(株)

役員 (2010年3月31日現在)

代表取締役会長兼社長	中村和男	
代表取締役	中村宣雄	
取締役	市川邦英	清水政男
	中村圭子	佐野 極
	中村 紘	
取締役(社外)	原 護	
常勤監査役	石丸昭雄	
監査役	堀井宏晃	
監査役(社外)	酒井 繁	種房俊二

株式の状況

2010年3月31日現在

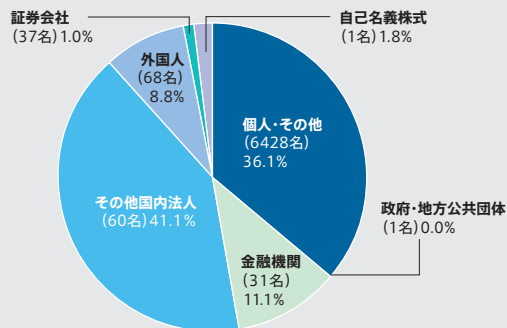
発行可能株式総数	2,300,000株
発行済株式総数	894,957株
株主数	6,626名

大株主

株主名	株主数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	318,410	36.22
中村和男	95,446	10.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	40,510	4.60
株式会社キースジャパン	35,972	4.09
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフ シーリ ノーザン トラスト ガンジー アイリツ シュ クライアantz	21,990	2.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	20,460	2.32
シミック従業員持株会	15,597	1.77
資産管理サービス信託銀行株式会社	15,350	1.74
タイヨーパウルファンドエルビー	14,180	1.61
野村信託銀行株式会社	10,658	1.21

(注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下3位を切り捨てております。
2. 当社は、2010年3月末現在で自己株式を16,010株所有しておりますが、上記表中からは除外しております。

所有者別の構成比率(株式数比率)



株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	10株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子広告(http://www.cmic.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による 公告をすることができない場合には、日本経済新聞 に掲載して行います。

シミックの
ホームページが
新しくなりました

<http://www.cmic.co.jp/>



今後も、シミックホームページをご覧になる皆さまに、
利便性が高く、一層充実した内容をお届けできるよう
努めてまいります。

healthクリックの健康コラム

紫外線が気になるこの季節。
お出かけ前は「サングラス」を忘れずに!

目のトラブルは浴びる紫外線の量に関係するということ、近年のアイスランド人に対する研究から注目されている。高緯度地域であるアイスランドは、太陽の高度が低く、日光が目の高さから射し込んでくる。そのため直接目に光を浴びやすいが、目の病気になる人は少ないとのこと。その理由のひとつとして、アイスランド人はサングラスを常用する習慣があり、目が紫外線から常に守られているためではないかと考えられている。



紫外線が引き起こす目のトラブルには、「雪眼炎」や、「翼状片」、「皮質白内障」などがある。これらのトラブルを防ぐためにも、紫外線の多い夏には、サングラスなどで目を保護することが大切だ。

参考：沖繩・金沢・アイスランドにおける太陽高度と「眼に入る紫外線量調査」結果から

healthクリック

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご利用ください。



<http://www.health.ne.jp/>



シミック株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4 金剛ビル

Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077

<http://www.cmico.jp/>